

災害ボランティア  
役立つ知識を紹介

第一学院高で講座

第一学院高校金沢キャンパス（金沢市堀川新町）で四日、災害ボランティア体験入門講座があり、一、二年生十七人が避難所で役立つ簡易ベッドや新聞紙を使ったスリッパの作り方を学んだ。



木下千鶴さんから段ボールベッドの作り方を教わる生徒たち。金沢市堀川新町の第一学院高金沢キャンパスで

県災害ボランティア協会

事務局長の木下千鶴さん（五〇）が講師を務め、ボランティアへの参加の流れや、被災地で役立つ知識を紹介。段ボールの中にペットボトルや牛乳パックを詰めると簡易ベッドになることや、レジ袋に切れ目を入れるとけがの応急処置に使える三角巾になることなどを伝えた。

二年の中沢亜月さん（一七）は「非常時に必要なものが身近にあるものでできるのが意外だった」、一年の坂本琳華さん（一七）は「急いで避難して履物がない人を見つけたら、授業を思い出してスリッパを作ってあげたい」と話した。

木下さんは「ボランティアは誰でもできる。災害が起きた際は学んだことを周囲の人にも伝えて」と呼び掛けた。講座は地域の人を招いて毎月行うキャリア教育の一環で開かれた。

（戎野文菜）